

《これからはるのひ》Ⅱ

陽気暮らしの研究・相談・推進委員として、活躍をめざす

- ・ 教会とは、陽気暮らし研究・相談・推進委員会
- ・ 「ようぼく」とは、陽気暮らし研究・相談・推進委員
- ・ 苦しみ、悩みの「ふし」とは、研究のしどき、しどころ
- ・ 教理および教祖「ひながた」とは、〈陽気暮らしナビ〉の理論と実際
- ・ 委員の資格＝苦勞の経験および〈陽気暮らしナビ〉

①2012年10月23日版

基礎活動

A 「つとめ」の完成度を高める

- ① 「すわりつとめのおてふり」を一人でできる
 - ② 鳴り物一つを譜本なしでできる
 - ③ 鳴り物一つをみんなと合わせてできる
 - ④ できる鳴り物をふやしていく
男鳴り物：拍子木、ちゃんぽん、太鼓、すりかね、笛、小鼓
女鳴り物：琴、三味線、胡弓
 - ⑤ 「よろづよ八首のおてふり」を一人でできる
 - ⑥ 「前半のおてふり」を一人でできる
 - ⑦ 「後半のおてふり」を一人でできる
 - ⑧ どんな役割もみんなと合わせてできる
 - ⑨ 「みかぐらうた」の味わいを深める
 - ⑩ 人に優しく丁寧に教えられる
 - ⑪ 教祖に喜んで頂くおつとめをめざして研究と努力を続ける
 - ⑫ 「おつとめクラブ」を作り、広める
- ※ 「つとめ」の心得＝以下をととのえる
- a 姿勢、表情、しぐさ
 - b 手振り、足運び
 - c 息（腹式呼吸と息継ぎ箇所）
 - d 発声、言葉
 - e 心—「よろこび、つつしみ、いさみ」

B 「ひのきしんクラブ」を作り、広める

＝さわやかに、さっそうと、さりげなく

- ① 本部の回廊ふきなど
 - ② 教会の清掃斉美（5時半、14時、22日月次祭前日準備、23日月次祭後かたづけなど随時）
 - ③ 詰所の清掃斉美（衛生検査前など随時）
 - ④ 近隣の清掃斉美、お年寄りの食事サービスなどありとあらゆるお世話取りやお役立ち
- ※ 「ひのきしん」（＝生きる喜びに発する働き）は、陽気暮らし世界の経済原理
- ※ クリーンパワーとしてのひのきしん（豊かだから働く）

C 「はなし」の勉強を進める

- ① よく聞き、よく読み、理解力を深める
 - ② 話したり書いたりして、表現力を深める
 - ③ 話し合いに加わったり、リードしたりして会話力・対話力、メンバーシップとリーダーシップを身につける
- ※ 言葉とは、言の葉（包むから、まとまる、残る、伝えられる）

なぜ、「つとめ」と「ひのきしん」と「はなし」なのか？

すべては天然自然のふところの中に含まれている。天然自然＝をやのふところ住まい、その測り知れない豊かさ

「つとめ」＝豊かさ（神わざ）の内化

「ひのきしん」＝豊かさ（神わざ）の外化

「はなし」＝豊かさ（神わざ）の深化

〈陽気暮らしナビ〉セミナー

テーマ：結婚。家族。暮らし。性。誕生。子育て。教育。仕事。お金。遊び。病気。事情。

社会。国際化。歴史。高齢。出直し。等々。

テキスト：『みかぐらうた』『おふでき』『おさしづ』『教典』『教祖伝』『教祖逸話篇』

『柏木庫治選集』『話の台』